

フォト句会21年11月度成績

開催日：11月15日(月)

時 間：15時～17時

場 所：セー104号室

出席者：9名(+1投句)

写真出題：大 越

お題写真



付け句 出題:大越 (和歌山のパンダ親子)

- 1) コロナ解雇着ぐるみバイトで食いつなぐ 松田 昌康
パンデミックで生活が一変してしまった人も。
- 2) 三時間並び 二秒で写真撮る 中村 晃也
今も昔も、パンダに会うためなら行列も苦にならない。
- 3) パンダ似ね言われて気付く妻がいた 清水 勝
「かわいい」と言われるのと「太ってる」とでは大違い。
- 4) 外交は昔ピンポン今パンダ 下山 健夫
パンダを貸し出す金額も半端ではないらしい。
- 5) 内緒だけど日本のほうが住み良いよ 長尾 進一郎
飼育員のお世話は至れり尽くせり。人々の暮らしも？



鬼灯は枯れ寂聴さん入寂す
(浩平)

地に伏して

集合写真

撮る執念

(晃也)



水勢や

日差しを惜しむ

冬初め

(晃二)



鮟鱇は どうでもしと
大あぐら (正二)



天高し四海めざして龍が翔ぶ (三春)



寸 評:

1) 鬼灯は枯れ寂聴さん入寂す 大越 浩平

99年の生涯を閉じた寂聴さんに想いを馳せた。

2) 地に伏して集合写真撮る執念 中村 晃也

撮っているつもりが、撮られていたとは。

3) 水勢や日差しを惜しむ冬初め 安藤 晃二

逆光にきらめく噴水が美しく、少し寂しげにも。

4) 鮫鰐はどうでもしてと大あぐら 矢澤 正二

開き直った？アンコウをアップで捉えた。

5) 天高し四海めざして龍が翔ぶ 三 春

写真の雲を見詰めていると、龍の顔が見えてくる。